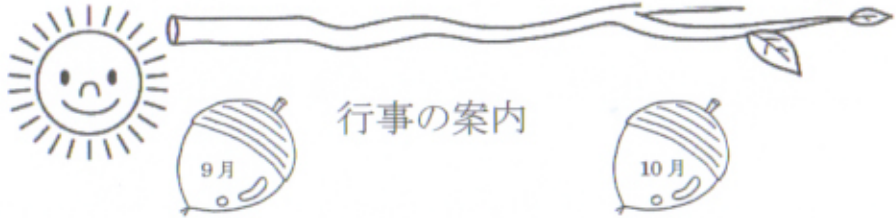


そっとおとどけ

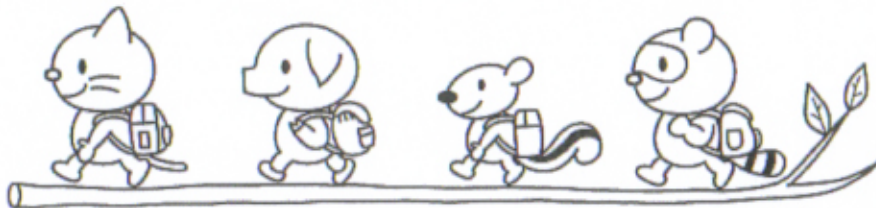
そっとおとどけは、司書によるミニ新聞です。 2015年
図書館をもっと身近に、もっと本を好きになってもらえたら。
という思いから生まれました。 138号



行事の案内

- 5日(土) 11:00～ ♀
まほうの箱のおはなし会
- 6日(日) 11:00～ ◇
夢のお仕事 おはなし会(事前申込制)
- 8日(火) 11:00～ ♀
夏のこのおはなし会(乳幼児向け)
- 12日(土) 14:00～ ♀
土曜シアター「神のいた夏- いな夏」93分
- 13日(日) 11:00～ ♀
赤ずきんのおはなし会
- 20日(日) 14:00～ ♀
れろの会のおはなし会
- 26日(土) 14:00～ ♀
なのはな教室のブラックボードシアター
- 27日(日) 10:00～ 14:00(受付) ♀
おむちや病院
14:00～ ♀
図書館職員のおはなし会

- 11日(日) 11:00～ ♀
赤ずきんのおはなし会
 - 13日(火) 11:00～ ♀
夏のこのおはなし会(乳幼児向け)
 - 25日(日) 14:00～ ♀
図書館職員のおはなし会
- ♀は図書館おはなしコーナー
◇はユメニティのおがたりホール
♀はユメニティのおがたり小ホール
♀は図書館2階会議室
にて行います。



展示のご案内

9/1(火)～10/27(火)

『一般』

『児童』

ゆりの時間

外国の人が書いたものがたりと

～何して過ごす?～

外国での暮らし



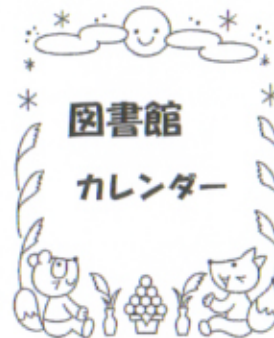
おいでよ♪♪秋の読書まつり

10月24日(土)に、ユメニティ小ホール・図書館おはなしコーナーにて秋の読書まつりを行います。参加は無料です。どうぞ、ご参加ください。



- ・まほうの箱によるパフォーマンス「ナレクスの音楽隊」
- ・工作とゲームの広場
- ・人力車にのれる!
- ・点字で迷路・暗号ゲーム
- ・おぼけハンティング♪
- ・やまびこ会によるおはなし会
- ・土曜シアターによる映画上映「魔法をすてたマジョリン」

詳しくは、館内にあるチラシを見てね♪



図書館

カレンダー

【9月】							【10月】							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
			1	2	3	4	5					1	2	3
6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10	
13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17	
20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24	
27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31	

※ ■ はお休み、太字 は17時間館、○ は行事がある日です

直方市立図書館 tel.0949-25-2240
URL <http://www.yumenity.jp/library/library.html>
開館時間 火～土 10:00～19:00、日・祝 10:00～17:00

かばん

「キミの名前」 柴川 湊人：著 Fン
短編集である本書に収録されている「シュシュと空きカバンの住人」「シュシュ、途方にくれちゃって」は、古着屋で購入したカバンの中に女性の幽霊が住んでいるお話。幽霊の負傷や行動が可笑しく、こんな幽霊にさらわれても良いかなという気になります。

「ひろいもの」 山本 甲士：著 Fヤ
カバン屋の店員・堀江舟高は、接客に自信が持てず失敗ばかり。そんなある日、道端でセカンドバッグを拾ったことをきっかけに、人生が一変する。それまで興味のなかったカバンの縫製や革の種類、はみ方に詳しくなり、すべてがうまくなる。その「もの」と「ひと」の不思議な縁を感じる短編集です。

「THE ACCESSORIES
ビジネス小物の教科書」
中村 達也：監修 589.2カ
「靴は人なり」。見られていないようで、見られているビジネスマンの靴。靴を時計に力を入れていても、靴にどう思うか、荷物を入れていませんか？ その靴は、そのスリに本当に合っていますか？ 大人の男性の靴選びの極意を著者が伝授！ ビジスマン必見です。

「狐のたんぽぽくわにしの少年時代」
海澤 龍彦：著 B 918シ
手品師の思ひ入った靴は果実とつながっていて、彼はその靴の中からどんなものでも取り出して見せることができる。というイメージは、ある世代以降の者にとってはどうもそのホリトであるが、海澤龍彦とみち子に確かに通じている。少年時代の思ひ出を記した本書の得体的な知識や博覧強記も果実の入りの靴である。

「空とぶトランク」 アンゲルセン原作 角野 榮子：文 E949P
お金を借り果たした男が持っていたものは、部屋着とスリッパと古ぼけたトランク。でもこれは空飛ぶトランクで、ここのお姫様のところへ男を連れていきます。男はお姫様と結婚できるのでしょか。アンゲルセンのお話はいつもどこか悲しい。でも懐かしい。子どもはもちろん、大人の方もどうぞ。

「かまゆめの手ぬぐいの使い方の手帖」
河出書房新社編集部：編 589.2カ
靴の中にハンカチは必需品ですが、この本を読むと手ぬぐいのハンカチ以上に役立つ優秀な存在の感じます。しかも柄の種類が豊富でオシャレ！手ぬぐいの使い方、魅力がわかる一冊です。いつもの靴や旅行のお供に、MY手ぬぐいを携帯するのも粋で楽しい。

「あなたと、どこかへ。」
石田 衣良 他：著 Fン
気分転換に旅行に行きたいけれど、歩きまわると疲れてしまう。そんな時は「本を読む旅」に出るのもいいかもしれない。靴に洗面用具と数冊の本を入れ、いざ出発！ 観光はせず、ただのんびりと本を読むだけ。本書は8人の作家による8つの物語。ゆったりとお楽しみください。

「ナチュル・ナビゲーション
道具を使わずに旅をする方法」
トリストラン・グーラー：著 448.97
一切の計器類を使わず、太陽や風、星といった自然のほかに、人の流れ、建物の建てられ方、市場の匂いや喧騒といった人間の営みまでをも手がかりにするのが「ナチュル・ナビゲーション」だ。旅行靴を所持するに旅する前に、日頃つかっている感覚を外界の現象にシフトさせてみる。そんな大胆な変換で、いままでにはない新しい感覚と新しい旅が身に入るかもしれない。

「ゆめみるトランク」
空居 直子：作 K 913P
北の町はずれにある小さなかばん屋の三代目主人。一部さんは、突然話しはじめたトランクに「かばんらしくくらしがしたい」と告ぐ。かばん売りの旅にでることになった。読み終えたら、古くからあるかばん屋さんに足を運んでみてくたはるかもしれません。

「女の子は、明日も。」
飛鳥井 千砂：著 F P
お店に、知らない女性から、靴を品定めされる美人の満里子の話から始まる。編集者としてぱりぱり働く悠希、不妊治療を始めたマサ子、師の如美、翻訳家として名を上げた理史の、19年ぶりに東京で再会した秋の30代女子のお話。一見華やかで幸せそうに見える暮らしの中に、それぞれの悩みや苦悩がある。

「ラポセルは海を越えて」
内藤 夕子：著 文 K 376ウ
ラポセルをアッカオスタンへ贈る活動の写真集本。アッカオスタンの子どもたちはラポセルを知りませんし、大人と同じくらい大切な働き手のため、学校に通い始める年齢も違います。それこそ、日本のラポセルは、アッカオスタンの小学生の宝物にならざるを得ない。受け取った子どもたちの生活と暮らした家が印象に残る一冊。

「着物に合わせる洋小物」
鳴海 彩詠：著 589.2ナ
通産なさんちと感とカズアル感が同居する華やかな着物は、着物によく合う。木綿やシルなど、気楽に着られる普段の着物なら、ソールガー・バッグでも…。着物に和の小物を合わせるなら、あえて洋の小物を合わせると、今時の着物スタイルに！ 本書では、着物と洋小物のコーディネート、選び方などを紹介しています。

「ふしぎなかばん屋さん」
もとした いずみ：作 E 913モ
とある町で、今日も不思議なかばん屋さんが、道にお店をひろげました。そこへきてきたのは、たくさん荷物を持ったおばさん。かばん屋さんは何をおすすめるでしょう？ ホントに不思議なかばんが登場しますよ！

「大草直子の最愛リスト」
大草 直子：著 589.2オ
「おしなれ」であるとは、多くの物を持つことではなく、愛情深いストーリーを「物」との間でいかに多く持っているか、と著者はいいます。初めて買った指輪のかばんからアロピアのメガネまで、幅広く、愛情たっぷり62品が紹介されています。